

平成 29 年度 みんなで支える森林づくり木曾地域会議

(第 2 回) 実施概要

1 日 時 平成 30 年 3 月 7 日 (水) 14 時 30 分～16 時 00 分

場所 長野県木曾合同庁舎 401・402 号会議室

2 出席者

【委員】

神村光雄委員 (座長)、大屋誠委員、長渕昭子委員、清水紘一委員、長瀬恵敏委員

【木曾地域振興局】

増田局長、小田切林務課長、越原企画幹兼課長補佐兼普及林産係長、伊東課長補佐兼林務係長、和合鳥獣対策専門員

【報道】

なし

【傍聴】

なし

3 実施内容

(1) 地域会議 14 時 30 分～16 時 木曾合同庁舎 4 階 401・402 号会議室

会議の内容は、以下のとおり

4 地域会議次第

(1) 開会

(2) 挨拶 (増田木曾地域振興局長)



会議の様子

(3) 会議事項

- ①平成 29 年度森林づくり県民税活用事業実施状況について
- ②次期森林税の基本方針及び活用事業について
- ③意見交換

(4) 閉会

5 会議事項

- (1) 平成 29 年度森林づくり県民税活用事業実施状況について
- (2) 次期森林税の基本方針及び活用事業について

事務局から、平成 29 年度の県民税活用事業の実施状況について、実績数字や写真等の資料により説明しました。あわせて、次期森林税の基本方針及び活用事業について説明し、ご質問やご意見を伺いました。

(3) 意見交換

【委員の皆さまからの主な意見等】

- 実施状況の間伐面積について平成 28 年度の面積が前年度から減っている理由は何か。
- 間伐施工地の条件は厳しくなり単価上昇しているのか。
- 森林整備における地権者の問題提起について法的な対応は進んでいるのか。
- 森林税事業を進めるにあたり町村職員の人件費に充てることが出来ればありがたい。
- 税事業の対象に国有財産を含めることはできないか。
- 次期森林税の事業をみて、実行できるか不安というか期待を持っている。
- 森林環境譲与税との関連性や今後の見込みについて判断がつきにくい。
- 自分の持ち山がどこか分からない人が増えた。境界も分からないため森林整備も進まず、意欲も持てない。国調も進んでいないが地元から要望しないとイケないのか。
- 山の手入れをするにも車で行かれない。みんなで管理しようとしても協力してもらえないのではないか。
- 山に対して興味が薄れている今、長野県で森林税事業ができたのは非常にいいこと。
- 自分の山がどこにあるのか原点に帰って取り組んでいけたらよい。